

7月 モニターレポート		担当出張所	伏見出張所
担当区間	宇治川中流兩岸 淀大橋～観月橋 (39～44.8km)		
モニター実施日時	令和2年7月12日 (日) 9時23分～11時10分		
天候	曇り		

## (見出し)

今月は宇治川の宇治川大橋 (42.2km付近) ～観月橋 (44.8km付近) の兩岸についてモニターしました。

不法投棄 (自転車2台、家具1点、袋入りのゴミ1点、段ボール箱数点、他小ゴミ)、不正侵入が疑われる自動車 (2台)、河川敷の活用状況 (運動公園、模型飛行場、釣り等) について報告します。



## (1) 左岸44.8km観月橋南詰

ここから左岸を下り、宇治川大橋で折り返して右岸を上り観月橋で左岸へ戻る一周コースです。

数日間続いた大雨の影響で増水もあるので主に堤防上からのモニターとなりました。



## (2) 観月橋南詰にある階段を降りたところ

人通りの多い通りの近くであることから立ち入る人が多らしくごみがすこし目立ちます。橋下にはタバコのパッケージもいくつか落ちています。人目を避けてタバコを吸う人がいるのでしょうか。



11fus 寺田モニター【宇治川】

(3) 左岸44.7km地点の付近の高水敷

自転車の放置があります。スタンドで立っているので乗り捨てたものと思われるのですが、草が絡まっているので少し時間がたっているようです。

ここから下流側は一面に草が生い茂っているので、もと降りた階段を上り、堤防の上に行くこととしました。

(4) 左岸44.8km地点付近の堤防上

堤防の上に捨てられたと思われる複数の段ボールが堤防の川側と外側の児童公園内に広く散らばっています

(5) 左岸44.7km地点近鉄鉄橋付近

ここ数年の集中豪雨の際に宇治川の水位が堤防近くまで上がり、向島地区や宇治市の一部に避難指示が出たりするのを経験していると、せめて宇治川公園から上流のこの近辺の低水路を広げて少しでも水位を下げられないものかと素人目に考えてしまったりするのですが、写真のような小さな湾のような構造が魚の逃げ場になったり稚魚の成育に役立ったりしているのでしょうか。

この近辺ではセミ、ウグイスの声がよく聞こえ、ツバメの姿を見かけます。

(6) 左岸44km付近宇治川公園

コロナの規制も解けた日曜日ということもあり、宇治川公園は小学生から成人まで野球を楽しむ人たちで大盛況でした

公園の下流側の少し高い木がある付近には5羽ほどのカラス集まっているのが見受けられました(黄楕円のあたり)





(7) 左岸43.6km付近

この辺りの高水敷は一面にアシを中心とした植物の群生が見られます。数万羽ともいわれるツバメの群生地としても知られ、今日も捕虫にいそしむツバメの姿を多く見かけました。ウグイスや虫の声も多く聞かれます。

(8) 左岸43.3km付近KMA飛行場

雨水なのか増水の影響なのか一部が水たまり状態でしたが、5-6組の利用者が農薬散布用のような小型ラジコンヘリコプターの操縦訓練の準備をしていました。

ここと直接関係はなく写真も撮っていませんが上空では操縦訓練または慣熟飛行中と思われるヘリコプターが今回のモニター中ずっと宇治川上空を飛行していました

(9) 左岸42.9km付近第二京阪下

このあたりは雨や日差しを避けることができるので時折バーベキューをする人を見かけます。そういう人が放置したのかビニール袋2つに入った空き缶他のごみが放置されていました。周辺にも他の場所よりごみが多く見受けられました。

また、堤防の斜面でゴルフの素振り練習をしている人がいました。

11fus 寺田モニター【宇治川】

(10) 左岸42.2km付近宇治川大橋南詰

通行禁止のゲートの前で堤防から出ようとする一般車両と見受けられる車が止まっていると、国道側からもう1台の一般車両と見受けられる車がやってきて慣れた手つきでゲートを開け、2台とも通行していきました。知り合いのようには見えませんでした。地元車両に通行が認められたりしているのでしょうか。（片方は大阪ナンバーでしたが）



(11) 42.2km付近宇治川大橋

橋上と右岸から見た左岸高水敷のアシ原の様子です。このあたりもツバメは沢山飛んでいます。



(12) 右岸42.5km下三栖排水樋門

釣りをしている青年がいたので尋ねたところ、生きたニゴイの幼魚を餌にブラックバスを釣っているとのことでした。今日は大きいのを一匹釣り落したとのこと。増水して流れの速い日は魚が本流をさけてこういう窪みに寄るそうです。

釣り人が多いからか、釣り具のパッケージや飲料缶のゴミが少し目につきました。

(13) 右岸42.9km第二京阪下

こちらは車で直接アクセスできるので左岸よりもバーベキューをする人が多いところ。ゴミが散見されます。コイかフナでも釣っているのかと思しき釣り人がいました。



(13) 右岸43km付近

右岸は左岸に比べて高水敷の幅が狭く水際に丈のある樹木が生えているところが多く、セミの声も聞こえます。こちらにも住んでいるのか対岸から来るのかツバメも多く飛んでいます。



(14) 右岸43km付近京大研究所前

不法投棄禁止の看板の横に事務機の引き出しのようなものが投棄されていました。車でアクセスが可能なのでごみを捨てに来るのでしょうか。



(15) 右岸43.1km付近東高瀬川

当たり前ですが、東高瀬川も増水しています



(16) 右岸43.4km付近三栖閘門

増水時の水面が閘門を開閉しても船が行き来できないこの低さであるということが、昭和初期と比べて洪水に備える余力が大いに増していることを示すのですね



(17) 右岸43.5km付近伏見港公園

釣り人が多数います





(18) 右岸44.5km付近近鉄橋梁下

自転車が放置されています



(19) 右岸44.6km付近

三角コーンの残骸が落ちています。

(意見・感想・処置等)

初めてのモニター、ありがとうございました。

増水時には、無理をなさらず、安全第一でお願い致します。

河川の利用者が多くなるに伴い、ゴミの投棄も多くなると言うのが実情です。

公園や橋梁等の河川占用区域の場合には、各管理者が、それ以外の場合には、河川管理者が、適切な維持管理を行うことになっていますので、必要に応じて、ゴミの回収等の対応を行っています。

近鉄京都線橋梁から宇治川大橋の約2km区間については、左岸に300m強の幅広の高水敷が存しています。京都府域の淀川（宇治川）において、これだけの高水敷が存するのは、ここだけです。

上流部は主として運動場（京都市）として利用され、下流部はヨシ原が広がり、多様な動植物の宝庫となっています。

そのため、多くの方が、様々な目的をもって、河川を利用しています。

河川は自由使用が原則ですが、周りに迷惑をかける行為は、自由使用には該当しません。

淀川河川事務所のHPにも、代表的な事例として、ゴルフ（素振りも）、ラジコン、打上花火、リード無しの犬の散歩などが掲げられています。

宇治川大橋の左岸上流の堤防道路は、河川管理用通路のため、車止めを設置して一般車両の通行を禁止しています。

但し、許可を行った河川利用者（公園利用者・模型飛行場利用者も含む）に対しては、車止めの鍵を貸与して、その通行を認めています。

次回もレポート、よろしくお願い致します。